

行政（一般方式）専門問題

令和元年(2019年)5月施行 職員採用試験

指示があるまで開いてはいけません。

注 意

1. 問題と解答用紙は別になっています。必ず解答用紙に解答してください。
2. 問題は**10題**あります。そのうち**3題**を選択して解答してください。
3. 解答時間は**2時間**です。
4. 解答に当たっては、解答用紙の表紙に記載された**注意**をよく読んでください。
5. この冊子は持ち帰ることができますが、**解答用紙は絶対に持ち帰らないで**ください。

次の出題分野10題のうちから3題選択のこと

1. 憲法 日本における二院制の存在意義について述べた上で、衆議院の優越について説明せよ。
2. 行政法 行政行為の職権取消し及び行政行為の撤回について、それぞれ説明せよ。
3. 民法 消費貸借の意義について述べた上で、その成立要件及び効力について、それぞれ説明せよ。
4. 経済学 外部不経済の下での市場均衡について説明せよ。また、外部不経済の内部化の方法のうち、課税による方法及び補助金による方法について、それぞれ説明せよ。なお、説明には図を用いること。
5. 財政学 公債の負担に関するリカードの等価定理について、予算制約式を用いて説明するとともに、バローの中立命題について併せて説明せよ。
6. 政治学 政党が成立するための条件及び政党の機能を述べた上で、サルトーリが分類した政党制の類型について説明せよ。
7. 行政学 フリードリッヒとファイナーとの行政責任論争について、論争の主な論点を述べた上で、それぞれの行政責任論について説明せよ。
8. 社会学 マートンのアノミー論について、五つに分類される個人的適応様式に言及して説明せよ。
9. 会計学 企業会計原則の一般原則について説明せよ。
10. 経営学 動機づけ理論における内容理論及び過程理論に言及した上で、マグラガーのX理論・Y理論及びハーズバーグの2要因理論について説明せよ。

